

# 鶴川駅前図書館へ行ってみよう!

問い合わせ 鶴川駅前図書館 ☎ 737-0263

10月17日、小田急鶴川駅前の複合型文化施設「町田市文化施設・和光大学ポプリホール鶴川」の2階に、鶴川駅前図書館が開館しました。駅前の図書館ということもあり、通勤・通学の方が利用できるよう、地域図書館では初めて、火・水・金曜日(祝休日を除く)は夜8時まで開館しています。皆さまのご来館をお待ちしています。

【開館時間】火・水・金曜日(除祝休日) 10:00~20:00 【休館日】毎週月曜日(祝休日は開館)・毎月第2木曜日(祝休日は開館)、木・土・日曜日・祝休日 10:00~17:00 年末年始(12月29日~1月4日)・館内整理期間

吹き抜けがあり、開放感のある新しいスタイルの図書館です。



今までの地域図書館と比べて図書閲覧席がたくさん設けられて、50座席の机席のほか、スツールやベンチ、パソコンなどを使って閲覧できる席が7席あります。

## 私立鶴川図書館資料



1939年から1989年まで「私立鶴川図書館」を運営し、公共図書館の草分け的存在である浪江虔氏の蔵書を展示しています。

緑が残る鶴川地域の図書館として、里山や身近な自然の本などを集めた「みどりのコーナー」



連載

## 町田市の文化財をご存知ですか

第9回 新指定文化財特別公開 問い合わせ 生涯学習総務課 ☎ 724-2554



### ▲①南多摩郡各町村縮図

「南多摩郡各町村縮図」は、八王子の中心部を除く南多摩郡全域の町村縮図108点が揃う、他にはない史料群です。なすな原遺跡出土の隆起線文土器(約13,000年前)、川島谷遺跡出土の爪形文土器(約11,000年前)は縄文時代草創期、市内最古級の土器です。



▲②隆起線文土器

▲③爪形文土器

①「南多摩郡各町村縮図」、②なすな原遺跡出土の隆起線文土器、③川島谷遺跡出土の爪形文土器の3件が新たに町田市指定有形文化財に指定されました。今回指定された資料を、2013年1月5日(土)から3月24日(日)まで、自由民権資料館で特別公開します。

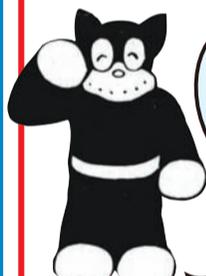
## 「滑稽とペーソス 田河水泡“のらくろ”一代記」展

2013年1月19日(土)~3月24日(日) 10:00~17:00

※毎週金曜日は20:00まで開館

- 休館日: 毎週月曜日(ただし2月11日は開館)、2月14日(木)、3月14日(木)
- 観覧料: 一般400円、65歳以上・大学生200円、高校生以下無料
- ※1月19日(土)、2月10日(日)、3月24日(日)は入場無料

問い合わせ 町田市民文学館 ☎ 739-3420



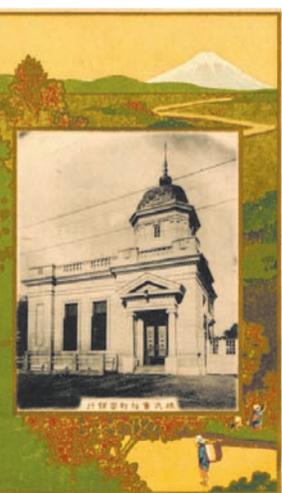
©田河水泡/講談社

晩年を町田市玉川学園で過ごした田河水泡の90年にわたる人生をひも解き、50年をかけて完結させた「のらくろ」シリーズへの熱い想い、作品に通底するペーソスの理由を探り、多くの少年に笑いと勇気を与え、戦後の漫画家たちに大きな影響を及ぼした作品の魅力に迫ります。落語会、のらくろSPレコード鑑賞会、講演会、文学散歩など、たのしいイベントを企画しています。皆さまのご来館をお待ちしています!

## 町田市歴史の「コマ」 巷の記録 絵はがきの世界

今日、絵はがきは、観光地旅行や博物館・美術館入館の記念品として親しまれています。その絵はがきの民地旅行や博物館・美術館入館の記念品として親しまれています。その後も、絵はがきは戦争間発行は、1900(明治)や災害を、絵や写真で伝える手段や、会社・組織の創立な33)年の私製はがき発行許可により初めて可能になりました。1904(明治)年に始まる日露戦争時に戦役記念絵はがきが発行されると、絵はがきは戦地と銃後社会をつなぐ連絡手段として重宝される一方、戦勝気

光明媚な観光地を紹介する名勝絵はがきも数多く発行され、近代の様々な場面を絵や写真で切り取った、重要な「巷の記録」ともなっています。写真は、1896(明治29)年に原町田で開業した町田銀行の絵はがきですが、明治治期の原町田の様子を垣間見ることが出来る記録としても貴重な史料です。



▲町田銀行の絵はがき

【お詫び】本紙9月11日号3面掲載の「町田の歴史の「コマ」天野佐一郎の手跡・足跡をたどる」の記事中、1922年の和暦に誤りがありました。正しくは大正11年です。訂正してお詫びします。

## 自由民権資料館

入館無料

## ミニ企画展

## 「絵はがきに見る近代」

2013年2月2日(土)~3月24日(日)

開館時間 9:00~16:30 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

◆毎週土曜日の14:00からギャラリートークを行います。

問い合わせ 自由民権資料館 ☎ 734-4508

明治30年代に定着する絵はがきは、写真や絵で当時の様子を今に語りかけてくれます。今回は民権家・村野常右衛門とその家族が残した絵はがきから、一家族が歩んだ近代を眺めてみます。

日露戦役記念絵はがき、憲法発布20周年記念絵はがき、町田銀行の絵はがき、横浜倉庫起工式の記念絵はがき、台湾総督府10周年記念絵はがき、日本医学会記念絵はがき、日米学生野球(ウィスコンシン大vs慶応)の記念絵はがきなど、様々な絵はがきを紹介する予定です。



▲憲法発布20周年記念絵はがき